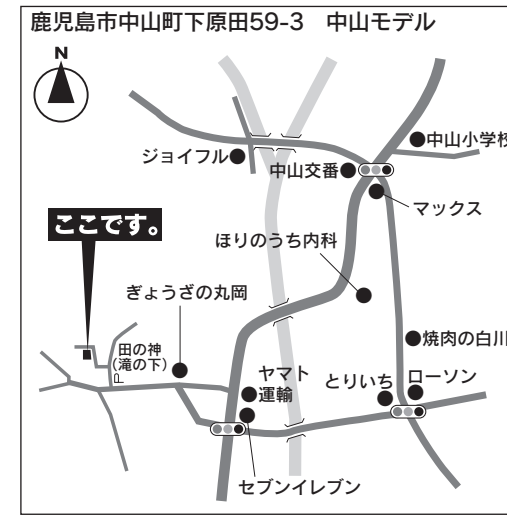


中山展示場 公開中!

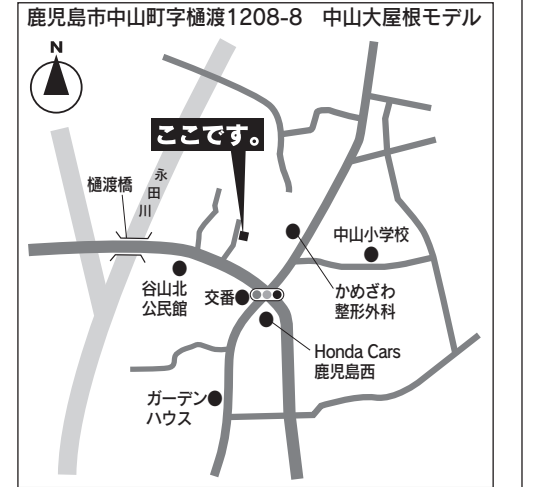
総2階建の平均的な住宅に、木製デッキと玄関ホールをプラスした住まい。



地球環境保全のための高断熱対策で住宅経費を削減し、経済的な暮らしやすさも同時に追求しました。これから逼迫が予測されるエネルギー事情を見据えた高性能展示場です。暖冷房はエアコン1~2台だけという最もシンプルな設備構成とし、住宅性能の良さだけで、省エネルギーを目指した展示場です。下記「平屋感覚の展示場」のすぐ近くですから、両方を同時にご見学下さることを、お勧め致します。下記の展示場は太陽光発電搭載の「ネット・ゼロ・エネルギー」住宅です。

平屋感覚の中山展示場 公開中!

鹿児島における家づくりへのこだわりから生まれた住まい。



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2013・スペックの展示場

川内展示場 公開中!



本展示場は【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2013】大賞受賞のスペック通りに造った展示場です。エアコン一台程度で冬も夏も快適な暖冷房を可能とした省エネルギー、超高性能住宅です。鹿児島県に相応しい期間蒸暑地域対応型住宅として、全国的に評価された工法です。冬と秋の中間期にご見学された方は、これから始まる梅雨と冷房環境について体感して下さい。設備は少なければ少ないほど、更新に必要な資金は少なくなります。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎0120-079-089

紫外線が皮膚に与える影響

有害な紫外線には、人間の骨の生育に必要なビタミンDを人体で製造する役割があります。

NHKの報道番組や新聞紙上で「くる病」の20年ぶりの増加が報道されています。

乳幼児のくる病と高齢者の骨粗鬆症!

くる病の増加の原因は、お母さんのUV対策?

20世紀初頭に、イギリスに多かった「くる病」の原因が曇天が続くイギリス人の日光不足であることが分かりました。

日光の(紫外線)が皮膚に当たり皮膚下で化学合成され生成されるホルモンのビタミンDが「くる病」を予防することが発見され、わが国の母子手帳でも乳幼児の日光浴が奨励され、母親は子供を当り前のように日光浴をさせたものでしたが、1998年以降は母子手帳から日光浴の言葉が消えて、外気浴になりました。

それは、1980年代のオゾンホール発見からオゾン層の破壊が顕在化して以来、紫外線は有害であるとの考え方が浸透し、太陽光をなるべく浴びないようにするという風潮が広まってきたことも、近年のビタミンD不足の一因と考えられます。特に女性性、紫外線がシミ・しわの原因になるなどとして、美容上

なぜ、紫外線でビタミンDを造る必要があるの?

ビタミンDには、過剰症という逆効果があり、ビタミンDを多く含む食品には、食物アレルギーの原因物質が多く、食品でビタミンDを過剰に摂取して過剰症を引き起こさないための自然の摂理が働いているからです。

医学的には、ビタミンDはカルシウム代謝調節作用と細胞分化誘導作用があり、カルシウム代謝に必要なビタミンDを生成すると同時に、細胞分化に関わるビタミンD関連化合物が生成され、ビタミンDを食品やビタミンD製剤だけで補うと、カルシウム代謝と細胞分化誘導作用の両作用の調節ができなくなり、常に過剰症と欠乏症に陥ること

過剰な紫外線の摂取は人体に有害です!

紫外線は過剰に浴びると人体に有害となることが知られていますが、ビタミンD生成のため紫外線量と有害と考慮される紅斑紫外線量双方の関係について国立環境研究所では、紫外線によるビタミンD生成という健康に対する有効性という皮膚に紅斑を生じさせるという有害性の研究から、具体的な日光照射時間の数値を公表しています。

基準都市は札幌・つくば・那覇になっていますので、鹿児島の場合、その日照時間が基準になります。世界保健機関(WHO)は、敏感な肌を持つスキントイプの

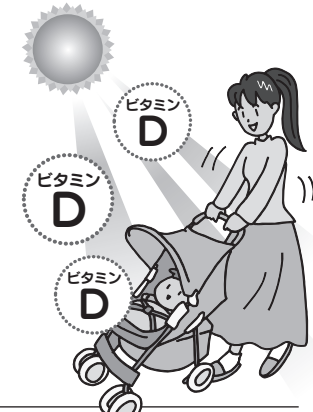
表1. 10 μgのビタミンDを生成するのに必要な時間

	7月			12月		
	9時	12時	15時	9時	12時	15時
札幌	14分	8分	24分	(904分)	139分	(4985分)
つくば	11分	6分	18分	(193分)	41分	(493分)
那覇	16分	5分	10分	142分	14分	31分

表2. 皮膚に直接的な影響が始める時間

	7月			12月		
	9時	12時	15時	9時	12時	15時
札幌	39分	25分	64分	(714分)	(227分)	(1667分)
つくば	32分	20分	52分	(313分)	98分	(625分)
那覇	46分	16分	29分	(294分)	42分	86分

表の中の()で囲んだ数値は、長すぎて現実的ではない計算値を示します。



人に対して、200J/m²の紫外線量を、最少紅斑紫外線量(MED: Minimal Erythema Dose)として定義しています。この量(MED)以上の紫外線を浴びると、人によっては何らかの形で皮膚に直接的な影響が現れ、さらにはその蓄積によって慢性的な障害が出ています。

住宅のUV対策は、開口部のガラス性能。

紫外線についての有効性と有害性について述べましたが、乳幼児のための照射時間は夏の15時の場合でも鹿児島では一日10分程度です。そんな大変な事ではありません。紅斑病に対しては、15時の場合で29分です。住宅の窓が大きいと紫外線の危険を心配される方が多いのですが、松下建設では、紫外線を標準装備したLOW-Eガラスを標準仕立てています。その性能はUVカットサングラス並みです。窓を閉めて日光を浴びさせず、窓を開けて適当な時間帯に10分程度の日光浴をさせてあげれば「くる病」の心配もなくなります。大気汚染によるオゾン層の破壊以来、紫外線の問題が話題に上がりますが、松下建設の開口部は温熱環境と紫外線対策にも充分に対応しています。

北アメリカ、東アジア、日本に自生します。フジ(フダフジ)とヤマフジの2種が日本固有種で、中国でシナフジ、欧米でアメリカフジなどが栽培されていきます。日本では園芸植物として藤棚や盆栽に仕立てられることが多く山林に自生するフジは、つる性であるため樹木に絡みついて、幹を変形させ木材の商品価値を損ねるため植林地など手入れの行き届いた人工林では、フジの行は刈り取られます。漢方では、藤瘤が胃腸薬として使用されました。根が食用になり、藤は飢饉時の救荒植物でした。若芽をゆでて和え物や炒め物に、花は湯がいて三杯酢や天ぷら、塩漬にして「花茶」に用いられます。種子は入手が困難で、もちもちとした食感は珍味となっていたように、食の甘さが江戸時代には貴重な糖質として重宝されていたようです。

ホトトギス

▼桜はすでに終わり、早月も満開を過ぎようとしています。ブーゲンビリアも垣根から顔をだしています。この頃最も楽しみなのが各地にある藤の花です。4月18日(土)に開花式が開催された和気公園の藤の花は、岡山県和気町から贈られた紫や白の藤が見事に満開の花を咲かせています。八重咲き、花の房が1mを超える長藤など、23種類約100本の藤の花に感嘆の声が上がっています。藤の分布は、

